

【取組内容①】 個別最適な学び、協働的な学びにおける一体的な充実

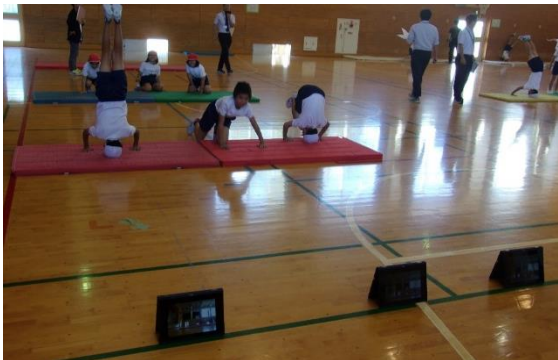
校内研修「できた」「わかった」の実感を持ち、学びへの意欲を高める子どもの育成
第4学年 体育科 B 器械運動（ア マット運動）

本時の目標

課題の解決のために自分が考えたことや技のできばえを友達に伝えることができる。

**ICTの活用方法（個別最適な学びにおける効果的なICTの利活用）**

- ・動画やタイムシフトカメラを使い、客観的に自分の動きを見ることで、動きのポイントのどこができていないのかを知る。
 - ・できていない動きを意識しながら練習するために、動画で撮影したり、過去の動画と比較したりする。
- 課題を解決したり、より美しい技へと高めたりすることにつながる。



【取組内容①】 個別最適な学び、協働的な学びにおける一体的な充実

協働的な学び

- ・映像を2画面にして過去の自分と今の自分の映像を見ながら友だちと技のできばえを伝え合う。
- ・電子黒板をもちいて、自分の映像を見せながら、振り返りのポイントに沿って考えたことを発表する。



☆カメラを使い、客観的に見ることで学びへの意欲が高まり、自分の課題を知る手助けになった。

研究協議

- ・授業を振り返り、ジャムボードを研究協議を行う。（全体授業）

成果	課題	改善策
<p>授業の振り返り、振り返りのポイントに沿って考えたことを発表する。</p>	<p>客観的に見ることで学びへの意欲が高まり、自分の課題を知る手助けになった。</p>	<p>客観的に見ることで学びへの意欲が高まり、自分の課題を知る手助けになった。</p>
<p>授業の振り返り、振り返りのポイントに沿って考えたことを発表する。</p>	<p>客観的に見ることで学びへの意欲が高まり、自分の課題を知る手助けになった。</p>	<p>客観的に見ることで学びへの意欲が高まり、自分の課題を知る手助けになった。</p>
<p>授業の振り返り、振り返りのポイントに沿って考えたことを発表する。</p>	<p>客観的に見ることで学びへの意欲が高まり、自分の課題を知る手助けになった。</p>	<p>客観的に見ることで学びへの意欲が高まり、自分の課題を知る手助けになった。</p>

- ・研究協議後、これからのICTを活用した授業づくり、リーディングDX戦略アドバイザーより指導助言
 - ①体育科における一人一台端末の活用場面
 - ②授業のねらいを達成させるためのポイント
 - ③情報活用能力の観点から（何のために伝えるのか）

☆教科の特質に応じ、ICTを利活用した場面設定を意識することが大切である。